

## 核医学診療科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 皮膚悪性黒色腫における原発巣の糖代謝を用いたリンパ節転移の存在予測

[研究機関] 北海道大学病院核医学診療科

[研究責任者] 玉木 長良（核医学診療科・教授）

### [研究の目的]

悪性黒色腫において、 $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT は進行期のリンパ節転移および遠隔転移を検出するのに有用であることが報告されています。しかしながら、センチネルリンパ節では、感度が低く、その有用性は限定的です。リンパ節転移の存在を診断することは、病気の経過を予測することや治療方針の決定にも重要であると考えられています。近年、様々な悪性腫瘍では、原発巣の糖代謝が高度であるほど、リンパ節転移や遠隔転移の頻度が高くなることや病気の経過が好ましくないことが報告されています。

そこで今回、当院で皮膚悪性黒色腫に対する原発巣切除およびセンチネルリンパ節切除もしくは領域リンパ節郭清術前に  $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT が撮像された患者さんの検査結果を見直し、原発巣の糖代謝からリンパ節転移の有無について予測可能か検討します。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2008年1月から2013年12月までの間に、北海道大学病院で、皮膚悪性黒色腫に対し手術を施行された方

#### ●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断病名、病歴、使用薬剤、手術病理所見、画像生理検査結果（ $^{18}\text{F}$ -FDG PET/CT）

### [個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院核医学診療科 担当医師 渡邊 史郎

電話 011-706-5152 FAX 011-706-7155